



### 姉妹都市連携 スクールソーシャルワーカー

根岸 赴夫  
(新風会)



**質問** 東京オリンピックの事前合宿に向け、交流の深まったポランドとの今後は。また、ポランド国内の都市との姉妹都市連携について、考えは。

**答弁** 昨年5月にリオ五輪のバレーボール最終予選の事前合宿を本市で行うなど経済、文化、スポーツを通じて交流している。今後も東京オリンピックでのポランド選手団の受け入れに調整を重ね、事前キャンプ地の誘致につなげたい。また、姉妹都市連携について、オリンピック委員会アンジェイ会長にふさわしい都市を紹介していただいている。当該都市との話し合いを

準備し、青少年の交流やスポーツでの訪問交流など検討したい。  
**質問** 本市のスクールソーシャルワーカーの仕事内容と現在の配置状況は。

**答弁** 平成24年度から社会福祉士の資格を有したスクールソーシャルワーカーを配置し、現在、4人で市内を4エリアに分けて学校を拠点に学校支援を行っている。主にケース会議や家庭訪問等で家庭問題や児童・生徒を取り巻く生活環境の改善に向け、関係機関等への調整を行うなど、支援が必要な家庭が孤立しないような見守り体制が構築できている。



### ファミリー・サポート・センター 送迎サービスへの支援を

後藤 彰  
(新風会)



**質問** ファミリー・サポート・センター事業の概要は。

**答弁** 子育ての援助を受けた人で行いたい人との相互援助活動を支援する事業で、誰でも利用できる。平成27年度は、1748件の利用があり、習い事等への送迎や保育施設等の降園後の預かりが多くみられた。

**質問** ファミリー・サポート・センターでは、夜間や急な出来事への対応は難しいと考える。

民間の送迎サービスは、夜間救急病院への送迎など突発的な事由にも対応でき人気のようだが、利用者に支援できないか。  
**答弁** タクシー会社で子ども専用タクシーを用意し、送迎等を実施していることは承知している。しかし、送迎を利用する事由も多岐にわたることから利用者への支援は現時点では難しい。  
**質問** 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、国は



### 国道406号の整備 農産物のブランド力向上

おいかわ 徳信  
(新風会)



**質問** 国道406号は、渋滞が著しい。この慢性的な渋滞に対する市の考えは。

**答弁** 渋滞原因は、交差点に右折レーンが設置されていないか距離が短いことによる。解消には交差点の改良工事が必要と考える。県が管理する国道であるが、本市の重要な路線のため、今後も引き続き県へ強く要望していきたい。

**質問** 知名度の高いブランド品をつくるため、市はどのような取り組みをしているのか。

**答弁** 農業者新規創造活動支援事業により市内で生産された農畜産物の加工から販売までを行



### 雨天時に傘を差さずに 行ける歩道整備を

木暮 孝夫  
(公明党)



**質問** 高崎駅から高崎文化芸術センター(仮称)まで傘を差さずに行けるペDESTリアンデッキの整備を望むが、見解は。

**答弁** 高崎駅東口から高崎文化芸術センターまでの歩行経路は、駅の2階から直接行き来できるよう、屋根付きのペDESTリアンデッキで接続する工事に着手した。しかし、既に整備が完了している駅前部分については、屋根をつけられる構造になっ

地域包括ケアシステムの構築を目指している。その中で薬剤師に期待されることは。

**答弁** 薬剤師が自宅や地域に向く体制を整備し、適切な服薬

指導、残薬の管理を行い、在宅医療を支えることが望まれている。また、医療や介護職等と連携し、地域包括ケアシステムの構築に関わっていく役割がある。

避難所の運営体制  
アリーナシャトルバス  
(市民クラブ)

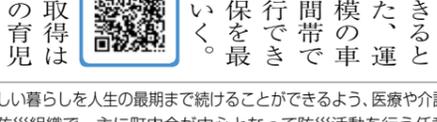


**質問** 災害時、小学校などの避難所の運営体制は。

**答弁** 市職員と教職員などの施設関係者、自主防災組織、町内会に協力をいただき運営していく。運営には避難所運営マニュアルの整備や継続的な訓練が大切と考える。また、活動中の事故や負傷した場合に備え、全国市長会市民総合賠償補償保険に加入している。

市の非正規職員の処遇改善は。また、非正規職員から正規職員になれる仕組みは。  
**答弁** 嘱託や臨時職員の報酬や賃金単価は、正規職員の給与改定や他市の状況を踏まえ、改善に努めている。平成28年度は嘱託職員の報酬月額を500円、臨時職員の時間単価を15円増額した。また、正規職員の採用は、競争試験を実施しており、本市は門戸が広く59歳まで受験できる。ぜひ試験に挑戦してほしい。

市の働き方改革  
くまのりんの路線延伸  
(日本共産党)



**質問** 市職員の残業の実態と有給休暇や育児休業の取得状況は。

**答弁** 平成27年度の職員1人当たりの時間外勤務は月平均4・8時間、年次有給休暇の取得は12・5日であった。女性の育児休業の取得は100%、男性はなかったが、本年度は1人取得した。引き続き啓発に努めたい。

浜川第二町内会は、民間のバスやくまのりんの路線から離れており不便である。10分以内で回れる距離であるが、くまのりんの路線を延伸できないか。  
**答弁** 対象の大八木線は、年間6万人が利用する1循環1時間30分の長大な路線である。現行のダイヤは最大限の便数であるため、数分程度の延伸も現状では難しい。しかし、要望を踏まえ、引き続き検討していきたい。

巨額な財政投入している事業を本市が目指す都市創造に結び付けることが肝要であるが、今後のまちづくりの取り組みは。  
**答弁** 選ばれる都市となるため、さまざまな事業は投資と考える。現在、投資している段階であるが、駅前のマンションも即日完売になるなど、既に成果は出てきている。今後も総合的な投資を行い、税収や人口増につなげる施策に取り組んでいく。

市内小・中学校周辺における交通安全対策用道路標示の文字及び案内標識板の大型化の取り組みや今後の方針は。  
**答弁** 道路標示は県の道路標示作図例に基づき最大サイズを採用している。路面のカラー化は路面がぬれた場合に滑りやすくなり採用していない。また、案内標識板は標識令等で基本的な寸法が定められ、道路の形状や道路景観に配慮することで拡大縮小できる。今後、視認性や安全性を考慮し設置していく。

調査研究が必要と考える。  
**質問** 今後のひきこもり対策は。  
**答弁** ひきこもりからの改善には長い時間が必要である。就労については、事前の就労訓練か

空き家解体助成の成果  
三島 久美子  
(無所属)

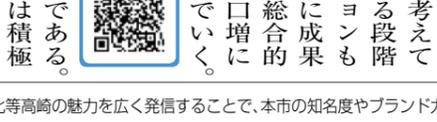


**質問** 本市はさまざまな助成、委託、補助事業を行っているが、市民の貴重な税金が使われる以上、成果を徹底的に検証するべきである。助成事業である空き家解体助成金の実績と成果は。

**答弁** 3年間で427件、3億8754万円助成した。市内経済の活性化や景観など大きな成果を上げていると考える。今後は、跡地の活用状況を検証し、より良い制度にしていきたい。

平成24年度の事業開始以来、累計で1億5000万円もの補助を行っている高崎シティプロモーション事業の課題は。  
**答弁** 事業の実施により、高崎のブランド力や知名度は確実に向上しているが、すぐに企業誘

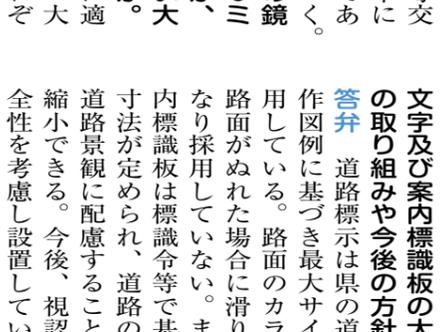
信越本線に新駅設置を  
通学路の交通安全対策  
田角 悦恭  
(新風会)



**質問** JR信越本線の豊岡地区に新駅を設置することによるアクセス向上は、高経大だけでなく地元にも重要だが、見解は。

**答弁** 市街地への通院、買い物、移動手段のほか、中高生等交通弱者にも鉄道やバスが簡単に利用できる環境整備は大切である。今後、十分に検討していく。  
**質問** 本市のカーブミラーの鏡面サイズは、600と800ミリメートルの2サイズあるが、今後、計画的により見やすい大きいサイズに変更できないか。  
**答弁** 本市では、設置場所に適した大きさを採用しており、大きな鏡面への変更には、それぞ

子どもを守る道路標示



まめ知識 ●高崎シティプロモーション事業 市内などで産業や文化等高崎の魅力を広く発信することで、本市の知名度やブランド力を向上させビジネス誘致につなげていく。